

(5) 南西部景観区域

課題と方向性

南西部景観区域は国道1号と淀川に挟まれ、枚方市の中心的な市街地を成す枚方市駅周辺景観区域に連なり、市域でも交通利便性が高く、古くからまちが形成されてきた区域です。区域の中央部には枚方市を代表する観光資源のひらかたパークが立地し、区域の西北部一帯を占める淀川の河川敷では公園が整備されています。また、淀川によって形成された段丘崖が京阪本線沿いに連なって緑の帯を形成し、豊かな自然景観を育んでいます。

一方、国道1号と国道170号が交差する京阪本線 光善寺駅の西方には、中小の工場と戸建て住宅や共同住宅、商業施設等が混在し立地する潤いの少ない景観の区域と、田園風景に農村集落が調和し地域の原風景を今に伝える区域とが隣接しています。

今後は、田園風景を守りつつ、住工混在地区での緑化を推進する必要があります。



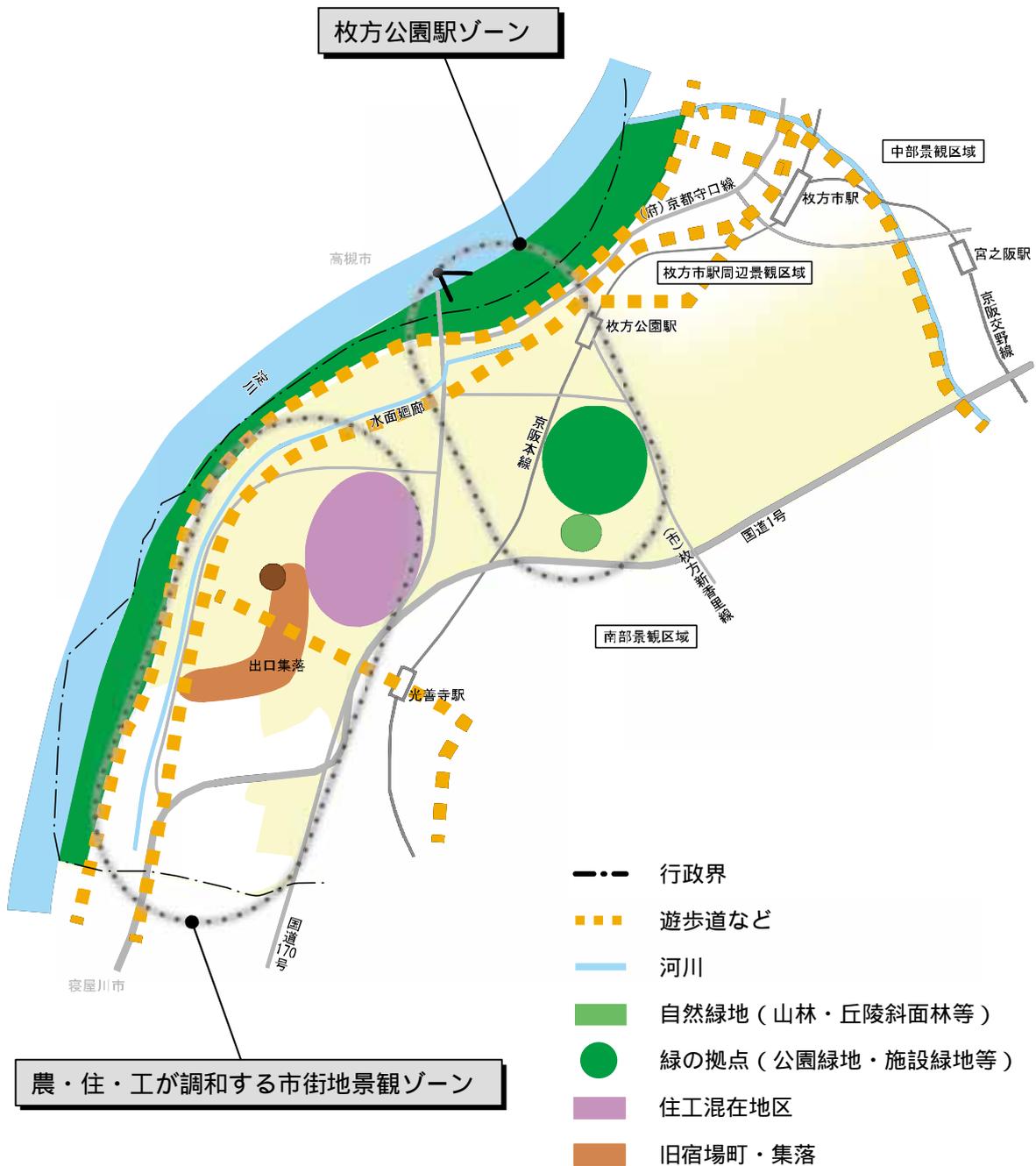
南西部景観区域 区域現況図



景観形成の方針

1. 市域を代表するレクリエーションゾーンの形成
2. 住・農・工が調和した良好な市街地景観の形成

南西部景観区域 景観形成概念図



景観形成の方向

枚方公園駅ゾーン

枚方市を代表する観光・レクリエーションの拠点を結び付け、都市住民に安らぎと賑わいを与えるレクリエーションゾーンの形成を図ります。

「観光拠点となる駅前・ネットワーク動線の整備」

- ・鉄道の高架化にあわせ枚方公園駅の東西駅前広場を一体的に利用できるよう整備することで、枚方公園駅を観光の出発点とし、ひらかたパーク、淀川河川公園、水面回廊、旧枚方宿などの観光レクリエーション資源をネットワークする動線空間の景観整備を推進します。
- ・地域や観光資源の個性を活かしたデザインにより、まちなみ全体で賑わいのある空間を演出します。

【関連構想およびプロジェクト】

枚方市京阪沿線（枚方市駅以南）まちづくり構想
京阪本線（寝屋川市・枚方市）連続立体交差事業



水面回廊

農・住・工が調和する市街地景観ゾーン

田園風景に映える集落の住環境の保全を図るとともに、住宅と工場の調和のとれた景観づくりを図ります。

「農地の保全と集落の歴史的たたずまいの継承」

- ・田園や出口集落のたたずまいを守り、水辺を巡る歩行者動線とのネットワークを図ります。

「居住環境にふさわしい工場風景の創出」

- ・工場の敷地の緑化を推進します。
- ・工場の外観や看板の色彩に配慮することにより、周辺地域との調和を図ります。



出口集落

南西部景観区域 景観形成構想図

